

# スポーツマネジメント推進センターの開設について

本学は、県内4プロスポーツチームとの連携協力およびプロスポーツ振興「栃木モデル」構築に関する研究会の活動を引き継ぎ、以下の目的を実現すべく本年10月1日を日途に、スポーツマネジメント推進センター（以下「センター」という。）を開設いたします。

## 目的 「栃木モデル」の構築

本県は、全国的にも珍しい4つ以上のプロスポーツチームが活躍し、世界文化遺産である日光の社寺のほか豊かな自然や温泉に恵まれ、餃子などのグルメ文化も存在します。「栃木モデル」とは、本県ならではのこうした特色と条件にもとづき、スポーツを核にこれら優れた資源を活かすことに

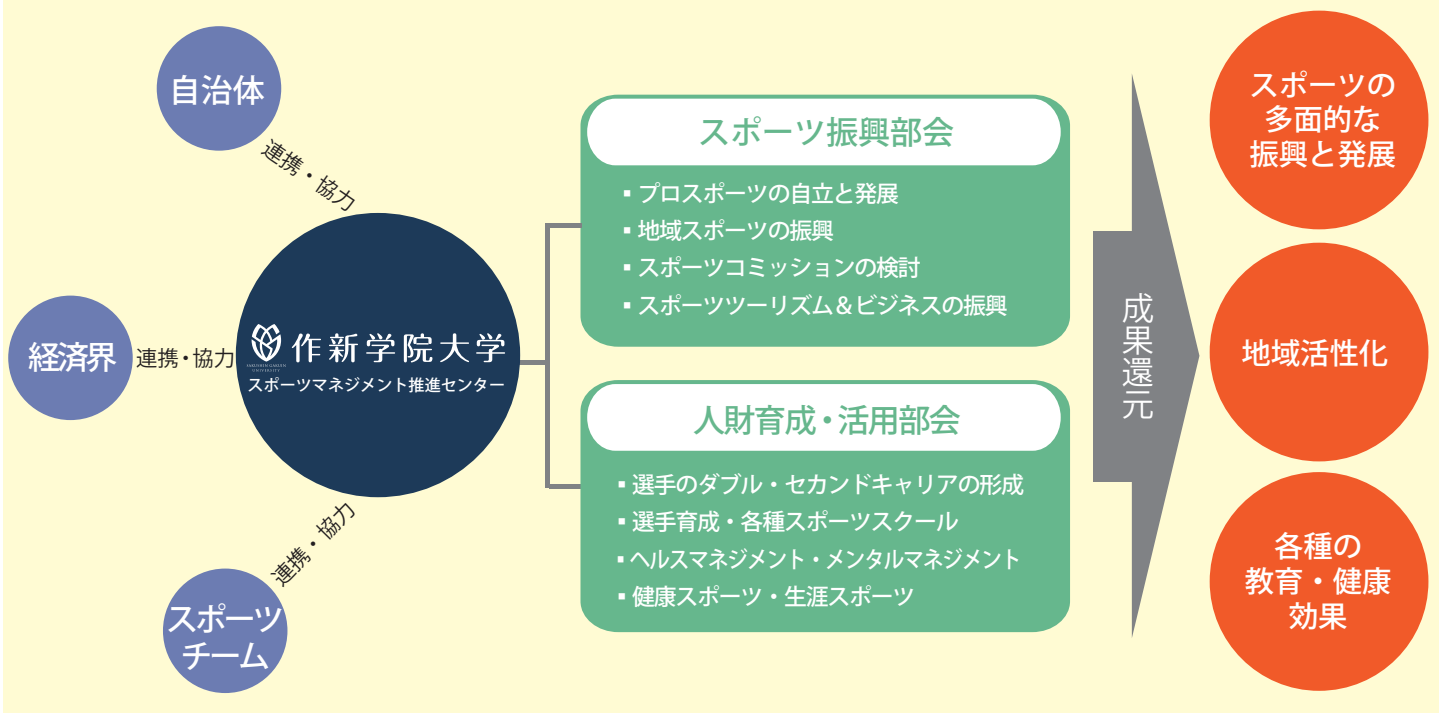
より、スポーツ振興と地域活性化の好循環をめざすものです。

センターは、2020年東京オリンピック・パラリンピックと2022年栃木国体を「栃木モデル」構築に向けた千載一遇の好機と捉え、そのための取組みを主体的かつ継続的に展開し、「栃木モデル」を構築する推

進力の一翼を担います。

そのために「する」スポーツだけではなく「観る」「支える」スポーツを重視して、県内プロスポーツの振興・発展とスポーツマネジメント人財の育成・活用を図り、栃木の地平から新たなスポーツ文化を創造することをめざします。

## ■作新学院大学 スポーツマネジメント推進センター概要図



## 役割 3つの機能の発揮

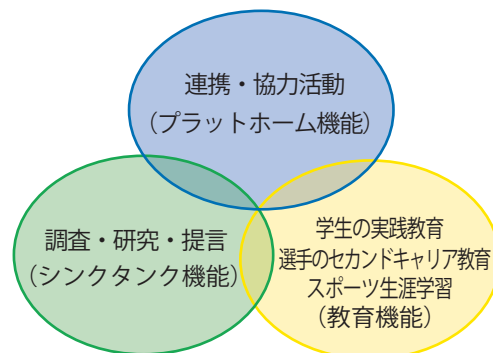
センターの役割は、以下に掲げる3つの機能を発揮して、上記の目的を実現することです。

第1は、「栃木モデル」の構築に向けた実践的な連携・協力活動の拠点として、また、そのための協働のプラットフォーム（基盤）として機能することです。

第2は、こうした協働の道しるべとなる

調査・研究を担い、県民および関係各方面に向けて協働に資する情報共有と政策提言を行うシンクタンクとして機能することです。

第3は、スポーツマネジメント人財の育成と活用に向け、選手のセカンドキャリア教育、スポーツ生涯学習、学生の実践教育を進めるなど、教育的組織として機能することです。



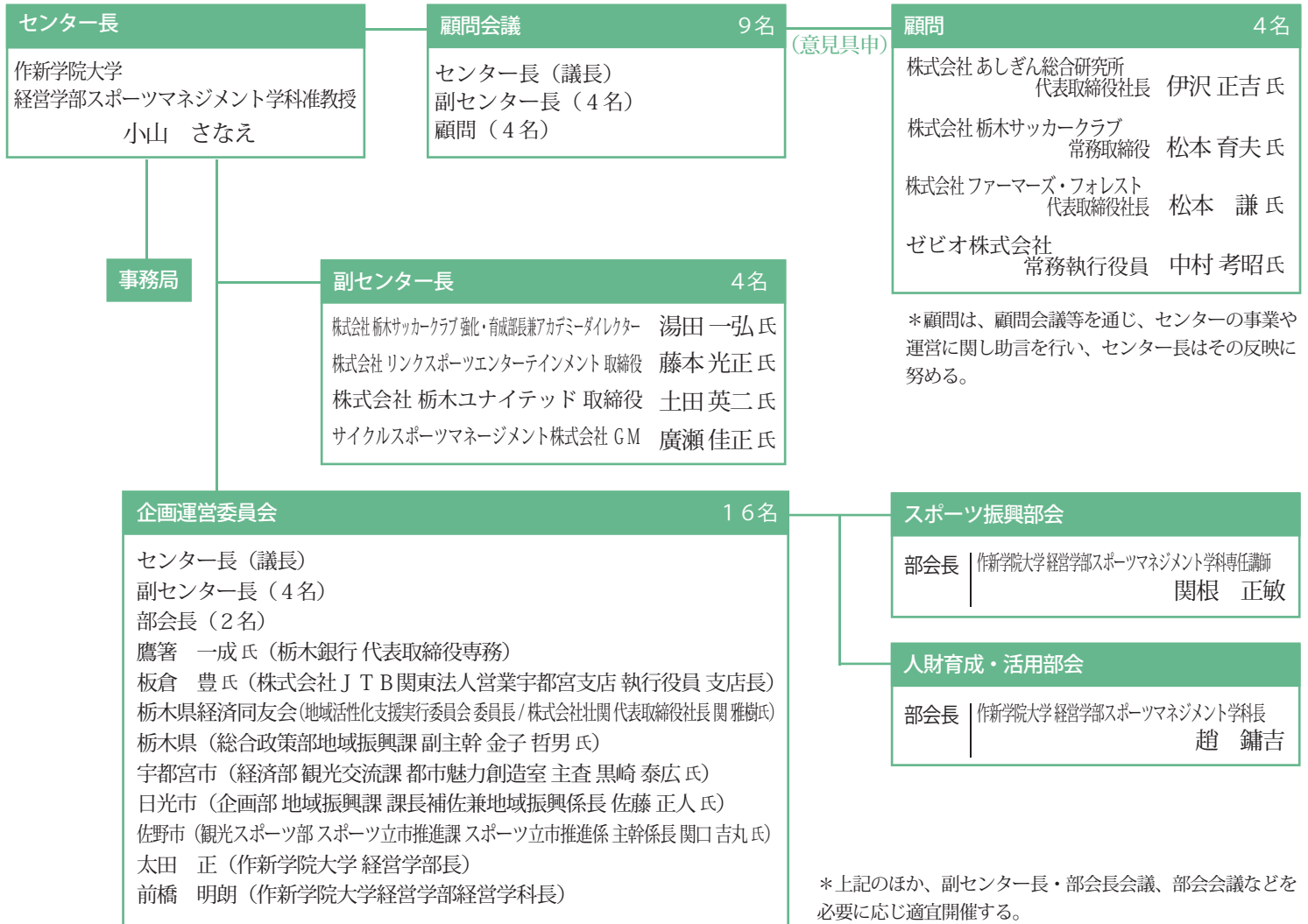
## 組織

## オープンな体制と運営

センターは、本学が設置と運営に責任を負う大学の付置機関ですが、社会に開かれた柔軟かつ機動的な組織といたします。そのため、その運営に当たる主要な構成メンバーは、経済界・自治体・4プロスポーツ

などからご参加いただくとともに、実践活動を担う2つの部会（スポーツ振興部会、人財育成・活用部会）の構成メンバーについては、公募により幅広く参加を募ることと致します。

なお、公募は常時受け付けと致しますが、**第1次登録を9月末日**とします。参加を希望される方は、下記の作新学院大学・地域連携支援センターまでお問合せください。



## 事業

## テーマによる実践活動

センターの事業内容としては、部会ごとに具体的なテーマを定め実践的な事業（活動）を展開していきます。なお、平成26年度については、「栃木モデル」研究会の運営（平成27年2月まで開催予定）及びその取りまとめに全力を傾注し、研究会の継続・継承に関する検討、平成27年度事業計画の検討などを主に行うことといたします。

以上にもとづき、センターの実働部門である各部会が取り組む予定のテーマ項目は次のとおりといたしますが、その具体的な取扱いには各部会において対応することといたします。

### (1) スポーツ振興部会

- ① プロスポーツチームの経営の自立及び改善に関する調査、研究、提言及び連携協力
- ② 栃木県のスポーツ振興に関する調査、研究、提言及び連携協力
- ③ スポーツコミッションに関する調査、研究、提言及び具体化の連携協力
- ④ スポーツツーリズム&ビジネスの振興・発展に関する調査、研究、提言及び連携協力

### (2) 人財育成・活用部会

- ① スポーツマネジメントの人財育成に関する調査、研究、提言及び実践活動
- ② スポーツ選手のキャリア形成に関する調査、研究、提言及び連携協力
- ③ スポーツスクール等の選手育成に関する調査、研究、提言及び実践活動
- ④ スポーツに関するヘルスマネジメント及びメンタルマネジメントに関する調査、研究、提言及び実践活動
- ⑤ その他スポーツに係る人財の育成・活用に関する事項